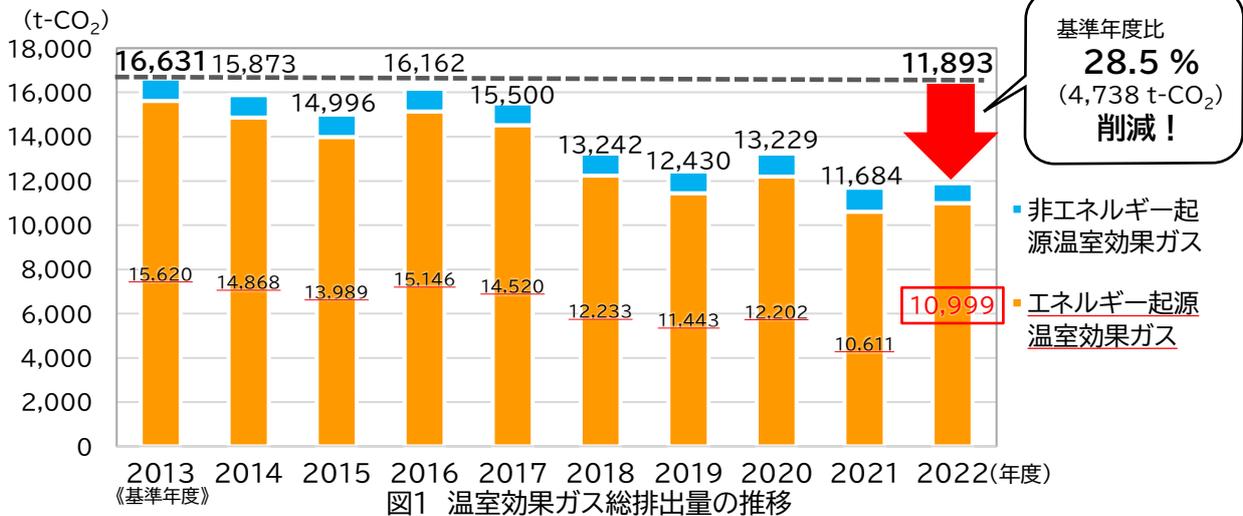


2022年度 第3期守口市地球温暖化対策実行計画の取組状況について

(1) 2022年度の温室効果ガス総排出量について

2022年度の守口市における温室効果ガス総排出量は、11,893 t-CO₂であり、計画の基準年度である2013年度における排出量と比べ、28.5%削減することができました。

起源別に見ると、電気や都市ガス、ガソリンの使用に伴って排出されるエネルギー起源温室効果ガスが総排出量の90%以上を占めていました。



(2) 2022年度のエネルギー起源温室効果ガス排出量について

2022年度のエネルギー起源温室効果ガスの排出量を見ると、電気の使用による排出量が74%(8122 t-CO₂)、都市ガスの使用による排出量が24%(2621 t-CO₂)であり、エネルギー起源温室効果ガス排出量の98%を占めていました。

また、2022年度は2021年度と比較し、電気使用量は減少しているにもかかわらず、温室効果ガス排出量が増加しました。これは、契約した電気事業者の排出係数が高かったためです。

今後、排出量を削減するためには、エネルギー使用量を減らすだけでなく、排出係数の低い、再生可能エネルギー由来の電力調達を含む、環境に配慮した物品・役務等の調達を行う必要があります。

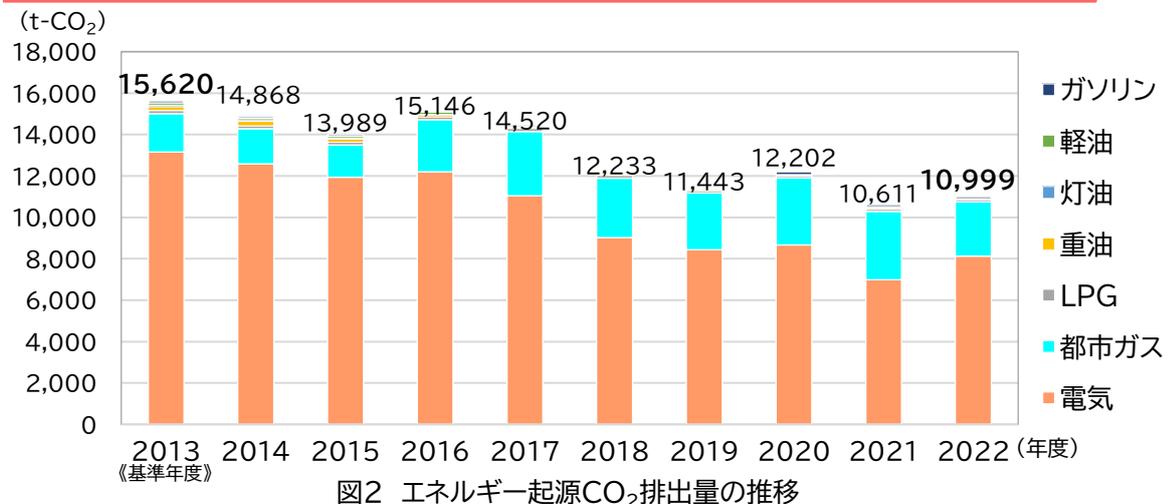


表1 2021年度と2022年度の電気に係る排出量等の推移

	2021年度	2022年度
電気使用量(千kWh)	22,738	22,183
排出量(t-CO ₂)	6,994	8,122
排出係数(t-CO ₂ /千kWh)	0.308	0.366